

家庭クラブだより

愛媛県立新居浜南高等学校 家庭クラブ
令和3年7月

私たち家庭クラブが、力を入れている活動の1つである新居浜市の民話について、今回は紹介したいと思います。

「民話の里すみの」の方々と協働して、たくさんの民話の紙芝居や絵本を製作してきました。「民話の里すみの」の方々は、『ふるさとの昔話を通して、子どもたちが郷土を愛し、優しさや、命の尊さ、豊かな心を育むこと』を願って活動されています。私たちも、地域の民話を知り、新居浜をもっと愛する“シビックプライド”を高めていきましょう！！

☆角野地区～旧別子村に残る民話の数々☆

▽ 民話が残っている地域の地図



私たちの身近なところに、たくさんの民話が残っています。民話を知り、実際にその場所に行ってみると、感慨深いものがあるものです。ぜひ、足を運んでみませんか？

▽ 現在の柄鎌八幡



☆民話「柄鎌八幡」☆

マイントピア別子に向かって登って行く道の左側にひっそりと祠があります。(マイントピア別子の少し手前) その祠にまつわるお話です。

今から 400 年くらい前のことです。豊臣秀吉の軍が生子山城に攻めてきました。敵の数が多く、一生懸命に戦ったのですが、だんだん攻め込まれて、もう負けることがはっきりしてきました。お殿様はこれ以上ここには危ないと思い、お姫様を高知の方へ逃がすことにしました。お姫様が城を出て、高知の方へ行くために、立川を通りかかりました。ところが、それを見た村のあるおばあさんが、お姫様を追っかけてきた敵のさむらいに「いま、お姫様がここを通過してあっちへ行った。」と告げ口をしました。そのために、一生懸命に逃げていたお姫様もとうとう捕まえられて殺されてしまいました。お姫様は大変悲しんで、村の人々をうらみながら、殺されたのです。それからというもの、村に悪い病気がはよったり、畑に野菜ができなかったりして、大変困りました。村の人々は、これはお姫様の祟りだといって、ここに小さい祠を建てて、お姫様の霊をなくさめたということです。



◀ 柄鎌

お姫様は、このような柄鎌で、敵方に殺されたそうです。惨い、辛い最期だったことが想像できます。

柄鎌八幡は、お姫様の霊をなくさめるために建てられました。

現在、新しく立て替えられ、このお話がお宮の側面に貼られていました。今でも祠は地域の方に大切にされています。